

エラー内容：仕口有効断面積が未設定です。

⇒ 加工生成実行時に、「構造計算マスター⇒断面欠損⇒端部仕口タブ」の設定をみて
端部仕口の有効断面積を算出しており、欠損はあるはずなのに仕口有効面積がない場合には
注意喚起としてエラーを表示するようにしています。
マスターが適切に設定がされているかご確認ください。

ただし、現状はマスター設定手順書に記載している仕口しか
断面欠損マスターとの連携に対応していないため、
マスターを設定してもエラーが表示される場合があります。
その場合は、お手数ですが材属性の構造計算タブの端部仕口欄で
有効材成、有効面積を手入力で設定してご対応をお願い致します。

なお、「仕口有効面積が未設定です。」のエラーについては、
構造計算のエラーの為、加工データの出力には影響ありません。

NSC-Xstar

断面欠損の考慮 端部 ☒ する ☐ しない OK
中間部 ☒ する ☐ しない キャンセル

端部仕口 梁 土台 トラス

	有効材巾係数	有効材成係数
蟻	0 %	0 %
大蟻	0 %	0 %
蟻継	0 %	0 %
鎌継	0 %	0 %
胴差巾	0 mm	
桁差巾	0 mm	
	長手方向	短手方向
柱ホゾ	0 mm	0 mm
寄ホゾ	0 mm	

梁属性

材番号 1048 OK
材 長 1782 キャンセル
☐ 構造計算対象外
☐ 指定材印刷 加工図
パース
エラー警告

番付 始端 終端
X1Y2 X3Y2
X間崩量 0 0
Y間崩量 0 0

芯ずれ ☒ 無 ☐ 北 ☐ 南
傾き

樹 種 欧州赤松集成材
等 級 E120-F330
材 巾 105
材 成 240
レイヤ メイン

一般 構造計算

端部仕口

	有効材成	有効面積
☐ 始端	153.60 mm	156.44 cm2
☐ 終端	153.60 mm	156.44 cm2

計算結果